

校則に関するポストを対象とした感情分析： ソーシャルメディアにおける「ブラック校則」の影響

チーム名：ポストTwitter メンバー：木原汰一郎



1. 背景・目的

背景

近年、多くのメディアで校則問題が取りあげられている。校則に批判的な内容も多く、ソーシャルメディア上でも批判的な投稿が散見される。特に、荻上チキ氏が「ブラック校則」という言葉を使い始めたことで、校則に対する人々の関心が高まったように見られる。

目的

「ブラック校則」の登場による、人々の校則に対する評価の変化を検証する。今回は、以下の二つの仮説を検証する。

- ① 「ブラック校則」登場後、人々の校則に対する関心が高まったのではないかと。
- ② 校則に対する関心が広まったのは「ブラック校則」という言葉の登場が原因ではないかと。

(しんぶん赤旗)

2. 手法

データ

「校則」を含むXのポストデータ
荻上チキ氏がブラック校則を最初に使用した日
(2017/10/27)の前後1年以内のデータを収集

収集方法

収集には X APIのFull-archive searchを用いた。

期間

Before : 2016/10/27~2017/10/26
After : 2017/10/27~2018/10/26

前処理

RT・botが行ったとみられるポストは除去
以下のユーザーをbotとみなした
・ユーザー名にbotを含むユーザー
・同一のポストを複数回行ったユーザー
・他人と同一のポストを行ったユーザー
URL・メンションは空文字変換

3. 実験 I

概要

ブラック校則出現前後の、「校則」を含むポスト数・そのポストを行ったユーザー数、ポストの感情極性値の時間的変化を調べた。

結果

① ポスト数・ユーザー数の変化

	ポスト数	ユニークユーザー数
Before	122,684	93,892
After	163,670	118,311

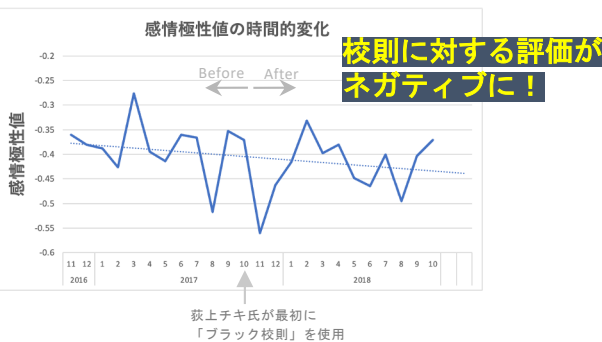
関心が増加!

② 感情極性値の時間的変化

→文章のポジティブ・ネガティブの程度を数値化したもの。今回は、BERTを用いて算出した。

BERT

使用したモデル：
koheiduck/bert-japanese-finetuned-sentiment

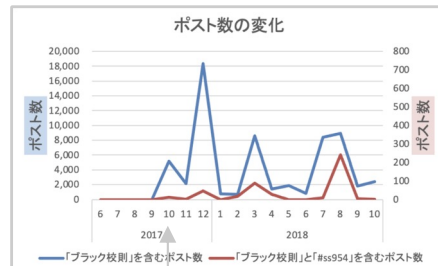


4. 実験 II

概要

荻上チキ氏が、ラジオ番組 (ss954) で「ブラック校則」について言及した前後の、「#ss954」及び「ブラック校則」を含むポスト数と、「ブラック校則」のみを含むポスト数の変化を調査した。

結果



荻上チキ氏が最初に「ブラック校則」を使用

考察

2017年9月以前はブラック校則を含むポストはほとんど見られなかった。荻上チキ氏がラジオでブラック校則を取り上げて以降、「ブラック校則」を含むポスト数が増加している。また、「ブラック校則」を含むポスト数と「ブラック校則」「#ss954」を含むポスト数の増減は連動しており、チキ氏やラジオリスナーが、ブラック校則の広まりに寄与した可能性があると言える。



ラジオリスナーがブラック校則に言及したとみられる例

ラジオリスナー以外がブラック校則に言及したとみられる例

謝辞

このプロジェクトは、九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)の一環として行われたものです。